

# あわらし市定例記者会見

平成22年5月11日(火) 10:00～

あわらし市役所 204会議室

## 1 市長施政報告

- (1) 平成21年度重点目標について
- (2) ふるさとあわらしサポート基金の状況について

## 2 5月のイベント、主な行事予定等について

13日(木) 13:30～	あわらし市日中友好協会総会	(市文化会館)
13日(木) 19:30～	あわらし市文化協議会総会	(市役所正庁)
16日(日) 8:30～	第7回あわらしトリムマラソン	(市役所スタート)
21日(金) 9:00～	あわらし暮らしの便利帳発刊式	(市役所応接室)
22日(土) 9:30～	日本列島縦断チャレンジウォーキング説明会(トリムパークかなづ)	
23日(日)	第11回フレンチトーストピクニック	(金津創作の森)
25日(火) 19:00～	市民活動サポート助成金公開プレゼンテーション	(市役所正庁)
30日(日) 8:30～	あわらし市農業委員会選挙告示・立候補受付	(市役所)
31日(月) 9:30～	議会運営委員会	

## 【参考】

### 平成22年度緑の協力隊員プロフィール

・氏名 高見美穂 ・年齢 22歳 ・兵庫県加西市出身

### ふるさとあわらしサポート基金の状況

事業の種類	平成21年度		平成20年度までの基金合計	基金総額
	件数	寄附金額		
芦原温泉駅周辺に活気を取り戻し、快適な都市空間に生まれ変わらせるための事業	2件	円 20,000	円 30,000	円 50,000
ゆのまち情緒にあふれ、にぎわいと華やぎを感じさせる温泉街づくりのための事業	-	0	50,000	50,000
子どものことを考えた学校づくりのための事業	13	176,000	198,000	374,000
北潟湖や竹田川を自然の息吹に満ちた空間によみがえらせるための事業	-	0	10,000	10,000
子どもを生み、育てやすい環境と施設づくりのための事業	1	10,000	0	10,000
その他あわらし市を元気にするために必要と認める事業	6	920,000	2,076,819	2,996,819
合計	22件	1,126,000	2,364,819	3,490,819

# 市の重点目標

## 平成 22 年度はこんなことをします



### 安全で安心なまちづくりと HEECE 構想の推進 総務部

総務部では、若い世代が住み、生み、育てたくなるまちづくりを目指して、HEECE 構想を進めるとともに、防災行政無線の整備や自主防災組織の育成など安全で安心なまちづくりを推進します。また、電子入札対象案件の拡大など、入札制度の改善に取り組みます。



総務部長 田中 利幸

#### HEECE (ヒース) 構想・・・

HEECE とは、「健康」の Health、「教育」の Education、「環境」の Environment、「地域社会」の Community、「経済産業」の Economy からそれぞれの頭文字をとったあわら市オリジナルのことばです。

まちの活力は、そこに集い、暮らす人々の活気に比例します。こうした活気と活力を増進させるため、HEECE 構想を前面に掲げながら、「健康」「教育」「環境」の各視点からこれを深化させるとともに、施策の基盤となる「地域社会」と「経済産業」の強化を図っていきます。

### ①安全で安心なまちづくりの推進

- ・防災行政無線の整備  
昨年度は金津地区の整備を終え、4 月から運用を開始しています。本年度は、未整備箇所の子局 20 基を整備することにより、市内のほぼ全域をカバーします。
- ・自主防災組織の育成  
地域防災力の強化を図るため、平成 20 年度から自主防災組織の設立を促進しており、現在 27 組織が設立されています。本年度は、20 組織の設立を目指します。

### ②HEECE 構想の推進

市の重点政策である「若い世代が住み、生み、育てたくなるまちづくり」を推進するため、市民活動サポート助成金事業などを実施するとともに、その効果を踏まえて HEECE 構想の新たな事業展開を検討するなど、地域活性化のための仕組みづくりと情報発信に努めます。

### ③入札制度の改革

建設工事に係る電子入札の対象を、これまでの設計金額 3,500 万円以上から 2,000 万円以上に拡大するとともに、設計金額 1,000 万円以上の設計・監理などの委託業務を新たに追加し、公平性、透明性、競争性のさらなる確保を目指します。

### ①財政基盤の強化

長引く景気低迷による税収の伸び悩みや、今後予定されている大型事業（公共下水道整備事業、北陸新幹線関連事業など）に対応するため、10 月をめどに歳入歳出両面から財政計画の見直しを行います。

また、新規起債を極力抑制するとともに、償還額の一部が地方交付税に算入される優遇債などを積極的に活用することにより、本年度の実質公債費比率は、対前年度比 0.5 ポイント減の 14.0% を目標にします。

### ②各種財政情報の公表

市の財政の透明性を高め、住民に対する説明責任を果たすと同時に、財政運営の効率化、適正化を図るため、各種財政指標や企業会計手法を活用したバランスシート、行政コスト計算書などをホームページで公表します。

### ③市税等の収納促進

「租税負担の公平」という観点から、市税等の収納を強力に推進し、現年度分の収納率 98% を目指します。また、滞納者の対策としては、累積滞納化を防止するため、財産の差し押えなどの滞納処分を積極的に実施します。

### 安定した財政基盤の確立 財政部

財政部では、将来にわたり健全で安定した財政基盤を確立するため、中長期的な視点に立った財政運営に努めるとともに、公正な課税と収納を推進します。



財政部長 小坂 康夫

### 健康で自然豊かなまちづくり 市民福祉部

市民福祉部では、子どもからお年寄りまで元気で健やかに暮らせるよう各種事業を実施するとともに、自然環境の保全に取り組みます。



市民福祉部長 辻 邦雄

### ①幼保一元化の検討

保護者の多様なニーズに対応するために、幼稚園、保育所（園）の一元化を推進し、すべての幼児が発達年齢に応じて一貫した幼児教育・保育を受けることのできる環境を整備します。

### ②循環型社会づくりの推進

- 「エコ市民会議」が取り組む各種事業に対し積極的な支援を行います。
- ・「もったいない」をキーワードに各家庭でエコを実践する「エコファミリープラン」は、500 世帯以上の参加を目指します。
- ・夏場の快適な環境づくりのための「グリーンカーテン」は、一般家庭 100 世帯以上、企業や商店 20 事業所以上の参加を目指します。

### ③元気で長生き、豊かな健康生活づくり

- 生活習慣病を予防し、健康で豊かな市民生活を実現するため、次の事業について目標達成に努めます。
- ・特定健診の受診率 30% 以上、特定保健指導の実施率 30% 以上を目指します。
- ・おばあちゃんの味である伝承料理の普及に努め、関連事業について延べ 1,500 人以上の参加を目指します。
- ・3 人 1 チームでウォーキングにチャレンジする「日本列島縦断・チャレンジウォーク」事業は、100 組（300 人）の参加を目指します。

①北部丘陵地域の活性化と地産地消の促進

農家の労働力不足を補うために設立した「ねこの手クラブ」の支援事業について、初年度の登録会員数 50 人、作業受託の取扱高 350 万円（延べ 5,000 時間）を目指します。

また、市内旅館や病院、老人福祉施設などに供給する地元産野菜と加工品の取扱高は、30%増の 1,000 万円を目指します。

②地域資源を生かした観光の振興

市観光協会などの関係団体と連携しながら、地域資源（人、自然、食材、歴史、産業など）を活用した旅のプログラムを商品化し、300 人の参加者を目標に着地型観光を促進します。

③企業誘致と若者定住の促進

雇用機会の拡大と地域産業力の強化を図るため、市内の工業団地や工場適地の PR に努めるとともに、古屋石塚テクノパーク 2 区画への企業誘致を推進します。

また、市内企業の PR と若者の就職活動を支援する「メル友あわらくん」への登録者数 200 人以上を目指すとともに、勤労者住宅資金利子補給制度を活用した若者の定住を支援します。

活気あふれる産業のまちづくり  
経済産業部

経済産業部では、市の基幹産業である農業、観光、商業、工業の振興や相互の連携を図りながら、地域経済の活性化に努めます。



経済産業部長 北浦 博憲

安心・安全で快適な住環境の整備  
土木部

土木部では、新幹線の開業に向けたまちづくりや安心・安全で快適な住環境の整備に努めるとともに、上下水道をはじめとする生活基盤の整備を進めます。



土木部長 木下勇二

①北陸新幹線延伸に対応したまちづくりの推進

将来の北陸新幹線芦原温泉駅設置を踏まえ、にぎわい交流広場および西口アクセス道路など、福井の北の玄関口にふさわしい駅周辺整備を進めます。

また、通学路でもある市道十日・嫁威線の歩道未設置区間を整備し、市民が安心して暮らせる安全なまちづくりを進めます。

②安心な住まいづくりの推進

耐震診断と補強プラン作成をセットで 10 戸以上実施し、耐震改修工事についての意識向上を図り、木造住宅の耐震化を促進します。

また、国や県の施策と連携して、3 戸以上の木造住宅耐震改修工事を推進します。

③下水道事業の整備促進

整備計画に基づき下水道整備を行い、下水道処理人口普及率 80%（下水道処理人口/住民基本台帳人口）を目指すとともに、現年度の下水道使用料収納率 96%を目指します。

教育環境の整備、充実  
教育委員会

教育委員会では、昨年度に続き、小学校と中学校の耐震補強・改修工事を進め、今年度内に耐震補強を必要とする小中学校すべての完成を目指します。

また、学校給食センターの整備計画に取り組むとともに、放課後子どもクラブ事業の充実を図ります。



教育部長 藤崎 恒美

①中学校および小学校の耐震補強・改修整備事業の推進

両中学校は、現在工事を進めている第 1 期工事（北校舎）、第 2 期工事（屋内体育館）に加え、第 3 期工事（南校舎）を本年 6 月に発注する一方、小学校の整備は、本年 3 月に発注した 5 小学校 6 棟の工事を適正に進めます。

②学校給食センター整備計画の推進

学校給食施設・設備の改善と安全な完全給食を提供するため、保護者の理解を得ながら、センター方式で統一し、その整備計画を進めます。

③放課後子どもクラブ事業の充実

放課後子どもクラブに登録された留守家庭などの児童に対して、適切な遊びや生活の場を与えるとともに、同クラブが所属する小学校の全児童を対象としたスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などを実施します。

第一回  
毎月 25 日はおばあちゃんの味の日



5月20日から6月4日まで、ケーブルテレビでご紹介します！

「おばあちゃんの味の日」事業は、健康の基本である食について、「早寝早起き朝ごはん」を合言葉に、「おばあちゃんの味」である伝承料理を復活させ、子育て中の家庭をはじめ、若い世代へと普及させていくことを目的に開始しました。伝承料理には、豆類、いも類、ひじき、ごまなどがよく使われ、生活習慣病である糖尿病や高脂血症を予防するカリウムやミネラル、食物繊維が多く含まれていることから、伝承料理を家庭の献立に取り入れることは、生活習慣病の予防につながります。

昆布巻き



作り方

- ①身欠きにしん（本干しにしん）は、1 晩米のとぎ汁につけてもどし、7 cm 程の棒状に切る。
- ②昆布は固く絞った布巾でふき、ぬるま湯で少し戻す。
- ③かんぴょうは塩でもんで柔らかくし、水洗いする。
- ④にしんを芯にして昆布で巻き、かんぴょうでゆるく結ぶ。
- ⑤鍋底に割り箸などを置き、④を結び目を下にして並べて昆布の戻し汁を加え、落しぶたをして砂糖を加え弱火で煮る。しょうゆは 2～3 回に分けて加え、ゆっくりと煮詰める。

材料 / 6 人分

昆布 15 cm × 6  
身欠きにしん 2 本  
かんぴょう 10g  
昆布戻し汁 3 カップ  
しょうゆ 大さじ 5  
砂糖 90g

材料 / 1 人分

エネルギー：110 kcal  
たんぱく質：3.7 g  
脂質：1.3 g  
カルシウム：97 mg  
鉄：1.2 mg  
食塩：3.3 g

身欠きにしん（本干しにしん）について

今回使用する身欠きにしんは、米のとぎ汁につけると、アクがでてやわらかくもどります。

生活習慣病を予防しよう！

にしんは青魚なので脳血栓や動脈硬化など生活習慣病の予防になる DHA や EPA が多く含まれています。また、カルシウムの吸収をよくするビタミン D、視覚障害の予防や皮膚やねん膜の強化に役立つビタミン A も豊富です。